

2015年7月7日 掲載 山形新聞

第一貨物に日本盲導犬協会から感謝状が贈られた

山形市・第一貨物



盲導犬育成事業に10年間寄付

第一貨物に感謝状

東北で活動する盲導犬の

育成事業への寄付を続けて

いる物流大手・第一貨物

ら感謝状が贈られた。同協

会によると、現在、東北では本県の7頭を含め72頭の盲導犬が活動中。同協会仙台訓練センターが年10〜15頭を育成しているものの需要に追いつかず、数十人が待機しているという。同社は社会貢献の一環として、2006年から毎年100万円を同センターに寄付し、10年間の総額は1千万円に上る。盲導犬の育成を通じて東北の視覚障害者の暮らしを支えている。

この日は同協会の吉川明理事や金井政紀仙台訓練センター長らが同社本社を訪問。岸仁常務に感謝状を手渡した。吉川理事は「仙台訓練センターができて間もない時期から継続支援いただき、大変感謝している」と謝意を伝えた。岸常務は「道路を使用する事業所として交通安全に寄与する観点からも支援してきたい。今後も継続したい」と話した。